

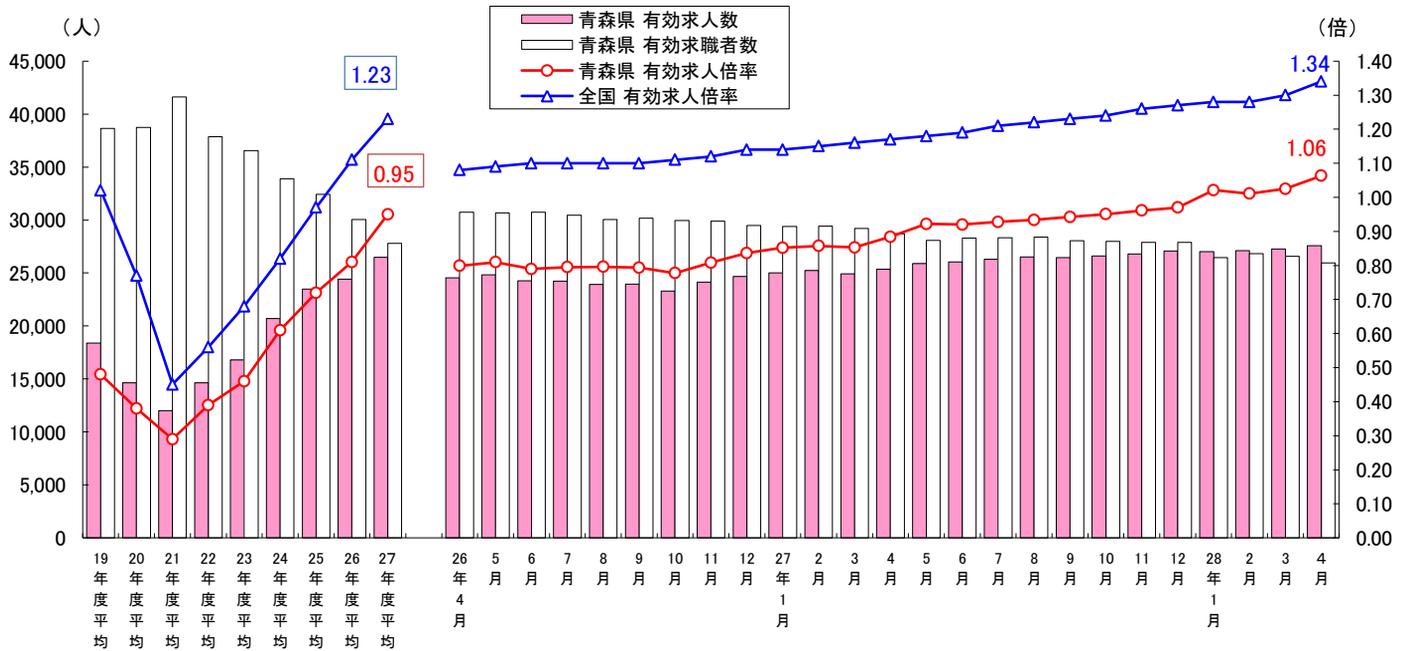
最近の雇用情勢について

(平成28年4月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

4月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.2%増加の27,591人、有効求職者数(同)は2.5%減少の25,941人で、有効求人倍率(同)は前月を0.03ポイント上回り1.06倍となった。

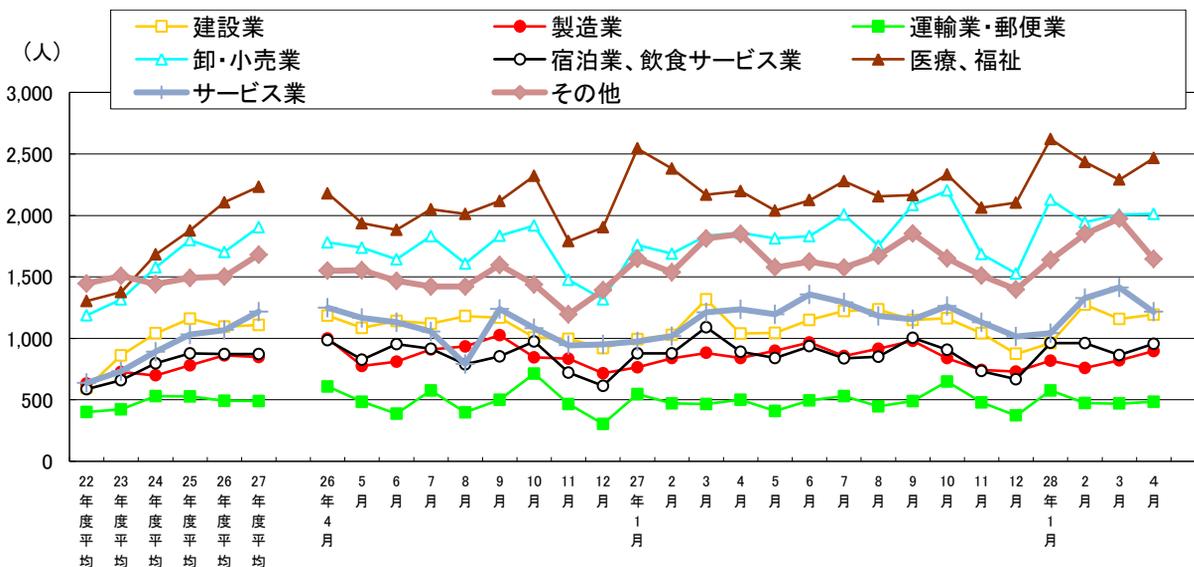


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成27年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

4月の新規求人(原数値)は前年同月比4.4%(456人)増加、前月比1.2%(128人)減少の10,872人。

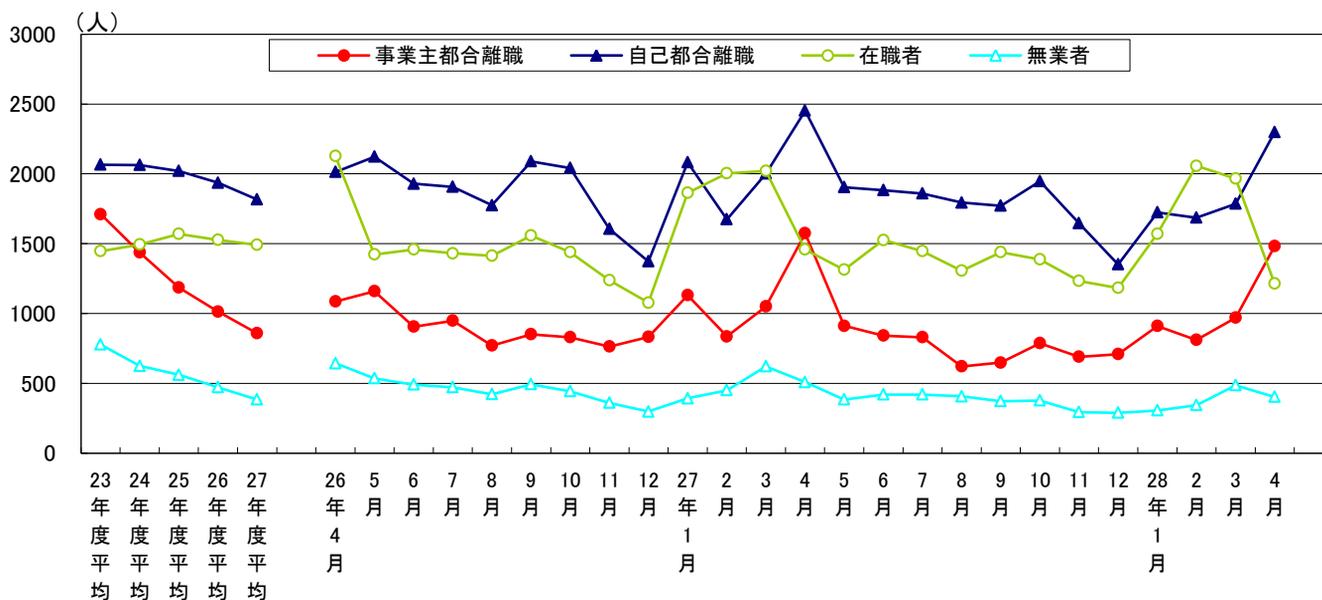
産業別に前年同月と比較すると、建設業、製造業、卸売、小売業、宿泊、飲食サービス業、教育、学習支援業、医療、福祉等で増加し、情報通信業、不動産、物品賃貸業、サービス業等では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、金属製品製造業、汎用・生産用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、情報通信機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

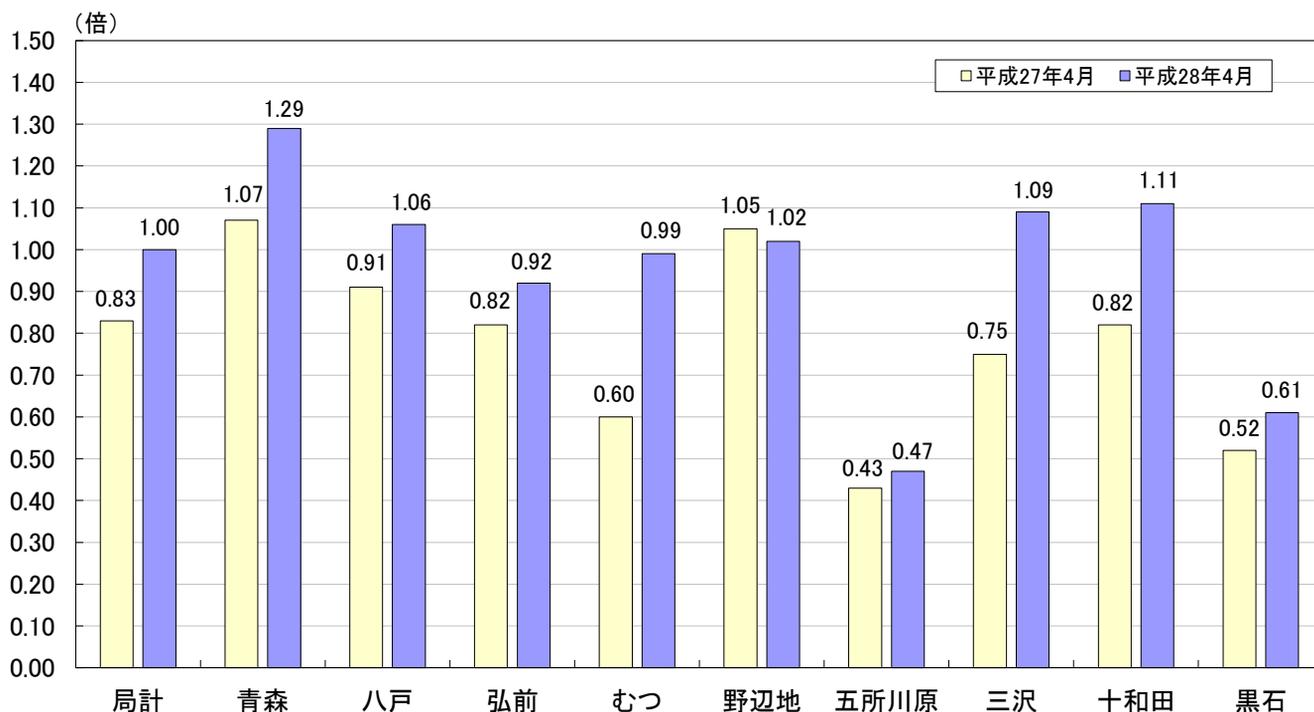
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

4月の新規求職者数は、前年同月比10.1% (631人)減少、前月比6.1% (325人) 増加の5,636人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は16.8% (245人)減少し、離職者は6.5% (281人) の減少、無業者は20.6% (105人) の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は5.8% (91人) の減少、自己都合は6.3% (154人) の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

4月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.00倍となり、前年同月を0.17ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

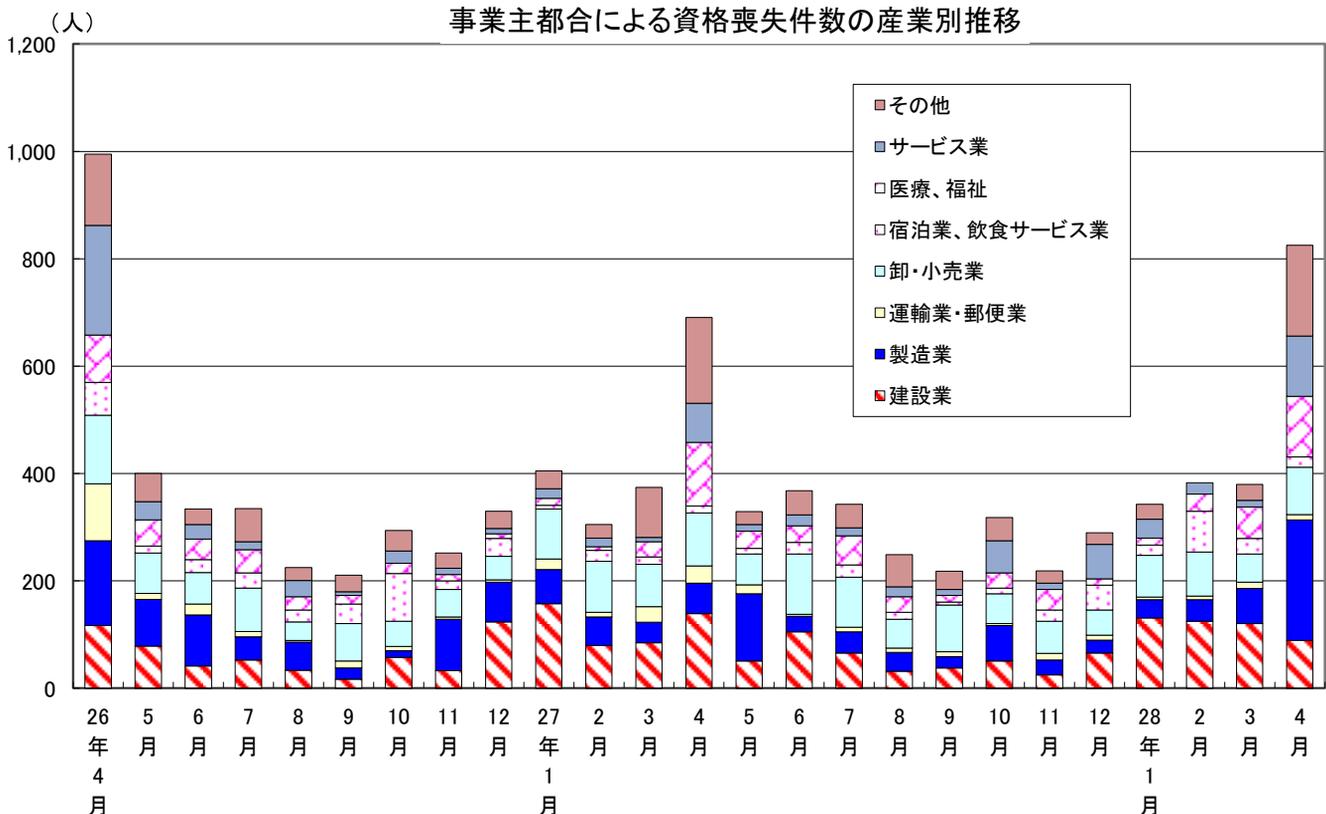
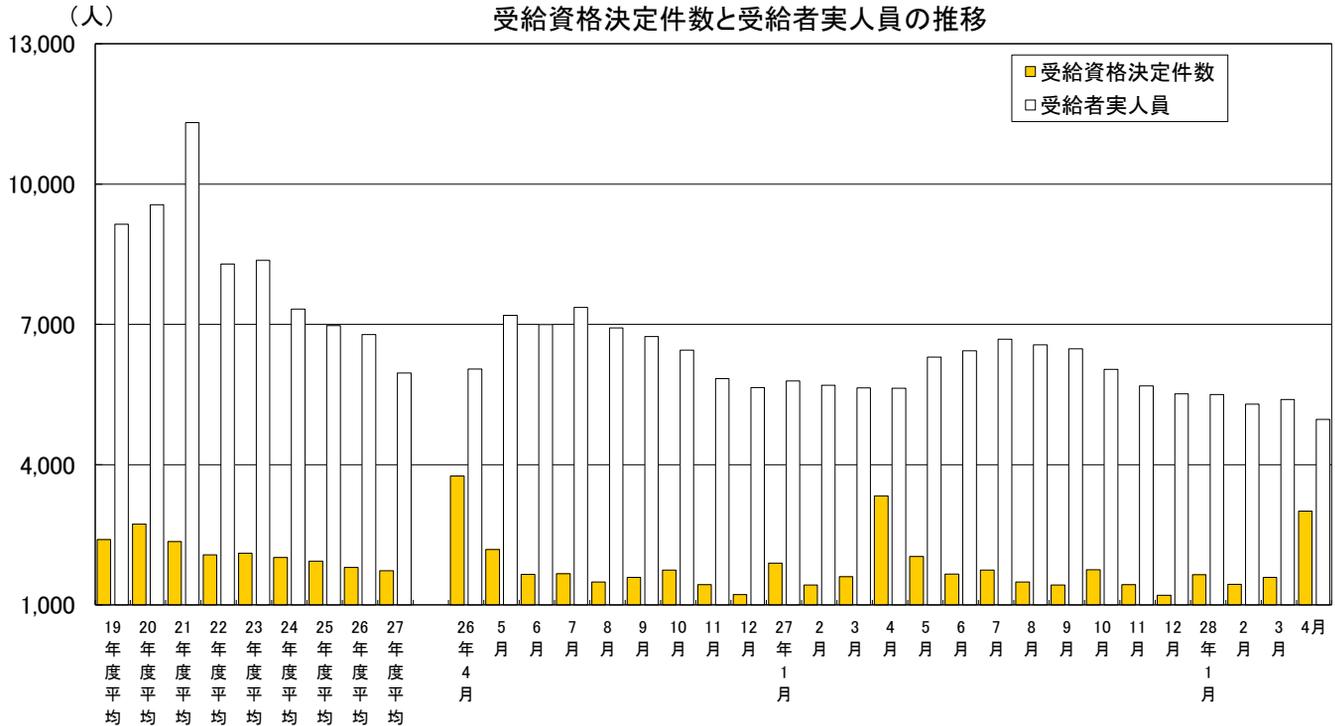


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	27,695	6,759	6,269	5,076	1,338	1,047	2,929	1,479	1,308	1,490
有効求人数	27,740	8,689	6,665	4,646	1,331	1,068	1,369	1,606	1,452	914

V 雇用保険の状況

4月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比11.7%（660人）減少、前月比では7.8%（421人）減少の4,972人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比9.8%（326人）減少、前月比では89.1%（1,417件）増加の3,008件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比19.4%（134人）増加、前月比117.1%（445人）増加の825人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。